



その平屋建ての木の家は、ちいさなお子さんが三人の、子育て真只中！五人家族のための住まい。四人でスタートした新居での暮らしも、三年が過ぎ、小さな家族がひとり増えました。

光と風を呼び込み、家族の気配を感じる家づくりをと、東西に長い平屋の家とあいなりました。南側のLDKとその北側に並ぶ個室を、あえて廊下を介さず隣接。個室の入口は全て引戸で柔らかに仕切ること、各室から顔を出してリビングに集まる「シェアハウス」のような間取りになりました。

家族の空間は、気配を感じられる範囲で最低限の仕切りにしよう。みんなの部屋としての居間に、自然と集まれるような設えが功を奏したのでしょう。いつもいつでも、こどもたちの元気な声と、お母さんのたまのカミナリが、協奏曲のように心地よい。そんな

「走り回ってすべて転んでも大丈夫。わんぱくな暮らしを支える丈夫な木の家」

木のすまい
仕様の家

日常の風景がちゃんとここにはありました。

暮らしの中心は、さながら道場のよう大きくて開放的な、ナラ材を張った板間です。ご主人が、かつて腕を鳴らした剣道場のような風情になったのは、偶然のような必然のような……

そんな大人たちの見立てをよそに、明るく広い居間は、子供たちにとって最高の遊び場。兄弟三人の走り回る声が、今日も陽気に響き渡ります。

屋根の傾斜をそのまま写す勾配天井の下、南側の大開口が天窓の存在と相まって、明るく開放的な空間となっています。外光の変化という自然も感じられる室内。入口も引戸なので開け放せば、家全体に風が通る、光ものびる。文字通り風通しのよいご家庭が育まれることを願っています。

近くに住むおじいちゃんとおばあちゃんも、この輪の中に時々参加。格子雨戸のある縁側の軒下に、いつも工夫を凝らした季節の飾り付けをしてくれています。住まい手が、木の家に、暮らしに彩りを添える。そんな余白を残した家づくりこそが、無垢の木の家の在り方ではないでしょうか。



木の家
ひょうご木のすまい協議会
Vol. 39
November
December
2013

変わる中古住宅の流通

今年6月に「中古住宅の流通促進・活用に
関する研究会報告書」が発表になり、その中
に今後の中古住宅が大きく変わる可能性を
秘めた報告がありました。

従来、建物の価値は築20〜25年でゼロと
みなされてきた慣行を改め、築後30年、40年
と経過しても一定の性能を持つ住宅であれ
ばきちんと価値を反映しようとする内容で、
これまでになかった画期的な構造改革が示
されています。

そもそも日本の中古住宅は価格査定する
不動産業者、ローンを利用する場合は金融機
関の専門知識がない人によって大雑把に担
保評価が行われ、税法上の耐用年数である22
年であるという根拠と合わせ住宅が20〜25
年でゼロとなる「慣行」が続けられています。

具体的な評価のしくみはこれから整備さ
れますが、金融機関が中古住宅の担保価値
を適正に評価できるようにすれば、購入し
ようとする中古住宅を担保にローンが組め
るようになり、これに国からの税制優遇が
受けられれば、取得し易くなると同時に不
動産取引の価格も上がり、これまでの悪し
き慣行を変えられるきっかけとなるのでは
と期待されています。

30年、40年と言わず、是非、50年、100年と評
価のできる仕組みになって欲しいと願います。

ひょうご木のすまい協議会
会長 三渡 圭介

【兵庫県庁林務課からのお知らせ】

兵庫県の木造住宅ローンのご案内

【融資制度の概要】

融資利率1.0%固定(平成26年3月31日融資実行分迄)

●新築・増改築

融資限度額:2,000万円(返済期間25年以内)
ただし、県産木材を60%以上使用し、長期優良
住宅の場合は返済期間は35年以内に延長可能
です。なお、26年目以降の利率は2.0%になります。

●リフォーム

融資限度額:500万円(返済期間10年以内)

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

兵庫県 木造住宅ローン

検索

—ひょうご木のすまい協議会のイベントご案内—

小冊子

「キノコイェノコ ひょうご2012」

「ひょうごの木を使った木の家」について、ユーザーの話や兵庫県林務課の話などが、掲載されております。木のすまいの考える「スマートハウス」では、より良くひょうご木のすまい協議会を理解していただく内容となっております。

- 小冊子「キノコイェノコ」ご希望の方は事務局まで～送り先を事務局までお知らせ下さい。



※バックナンバー(ひょうご2011、2010、2009)もございます。数に限りがありますので、ご希望の方はお早めにお申込ください。

